平成28年度外務省所管補正予算(第3号)

総額1,685億円(うちODA1,272億円)

追加財政需要 1,685億円(うちODA1,272億円)

1. 難民問題を含む人道・テロ対策・社会安定化支援	847億円	ODA 840億円
□ 中東・北アフリカ地域等における人道・テロ対策・社会安定化支援 シリア情勢等に起因する難民・国内避難民等の支援のほか、中東・北アフリカ諸国、不安定な国・地域等における困難 な事態に早急に対応するための人道支援、社会安定化支援及びテロ対策支援等を行うための経費。	400億円	396億円
□ アフガニスタン支援 アフガニスタン政府の治安維持能力の維持・向上及び紛争被害者等に対する人道支援等を行うための経費。	190億円	189億円
□ サブサハラ・アフリカにおける人道・テロ対策・社会安定化支援 サヘル地域を始めとする紛争・テロ頻発地域及び南北スーダンにおける難民・国内避難民等支援のほか、ソマリア安 定化支援、自然災害等による被害への支援等を行うための経費。	206億円	203億円
□ アジア大洋州地域における人道・テロ対策・社会安定化支援・災害復興支援 ●東南アジア、南西アジアを中心とするアジア地域において、専門分野の知見を活用したテロ対処能力向上、人材育成や生活支援等を通じた暴力的過激主義対策支援等を行うための経費。 ●フィリピンにおける人道支援や薬物患者支援、太平洋島嶼地域における自然災害による被害に対する災害復興支援及び人道支援等を行うための経費。	52億円	52億円
及び八足又版寺で门方にのの唯具。		
2. 広域感染症や気候変動等の地球規模課題への対応支援	<u>394億円</u>	<u>ODA 394億円</u>
	394億円	ODA 394億円 393億円
2. 広域感染症や気候変動等の地球規模課題への対応支援 □ 保健分野における貢献 ●エイズ、結核、マラリア等の感染拡大阻止及び保健システムの強化等のための経費。また、国際保健パートナーシップによるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を推進するための経費。		
2. 広域感染症や気候変動等の地球規模課題への対応支援 □ 保健分野における貢献 ●エイズ、結核、マラリア等の感染拡大阻止及び保健システムの強化等のための経費。また、国際保健パートナーシップによるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を推進するための経費。 ●アフリカ諸国等におけるポリオ等感染症対策を実施するための経費。	393億円	393億円
2. 広域感染症や気候変動等の地球規模課題への対応支援 □ 保健分野における貢献 ●エイズ、結核、マラリア等の感染拡大阻止及び保健システムの強化等のための経費。また、国際保健パートナーシップによるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を推進するための経費。 ●アフリカ諸国等におけるポリオ等感染症対策を実施するための経費。 □ 後発開発途上国に対する気候変動対策支援 パリ協定の実効性確保のため、気候変動の悪影響に対する後発開発途上国による対応策を支援するための経費。	393億円	393億円

4. 核軍縮・不拡散体制の強化	<u>9億円</u>	ODA 5億円
□ 核・ミサイル開発防止, テロ対策の強化支援 ●大量破壊兵器等の拡散防止を主眼とする安保理決議第1540号の途上国による履行を強化するための経費。 ●北朝鮮等による核実験を精確に検知する体制を強化するための経費。	4億円	1億円
□ IAEAとの協力強化 ●核関連施設へのテロ攻撃や非国家主体による核物質の奪取等に対処するため、核セキュリティ強化のための事業を実施するための経費。 ●原子力科学技術を活用した、自然災害対策プロジェクト及びジカ熱等の感染症対策プロジェクトを実施するための経費。	4億円	4億円

5. 国連分担金等	<u>415億円</u>	ODA 32億円
□ 国連(UN)分担金 当初予算作成時に国連において要請及び承認されていなかった特別政治ミッション等に関する追加経費について、平成28 年度内に加盟国の支払い義務が発生する経費。	55億円	10億円
□ 国連平和維持活動(PKO)分担金 本年4月以降に決定された国連南スーダン共和国ミッション、国連中央アフリカ多角的統合安定化ミッション等の計10ミッションのPKOのマンデートの延長等について、平成28年度内に加盟国の支払い義務が発生する経費。	360億円	22億円

6. その他	<u>19億円</u>	ODA 1億円
□ 中国遺棄化学兵器・現地調査関連経費 平成28年度中に通報があった案件について、化学兵器禁止条約に基づき我が国に廃棄義務がある遺棄化学兵器か否か を確認するため現地調査を行うための経費。	5億円	-
 	13億円	1億円